

■効果の見える治水事業

徳島県 桑野川 広域河川改修事業

徳島県 南部総合県民局 県土整備部

部長 田中 明夫

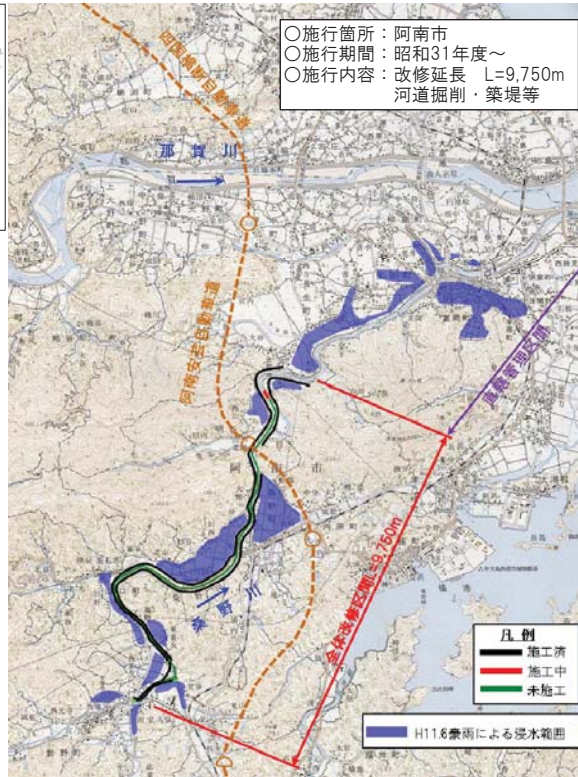


桑野川は、徳島県中南部に位置し、南川・蛭地川等の支川を合わせながら北東へ流れ、阿南市大原において那賀川平野に出て、さらに大津田川、岡川等の支川を合わせ那賀川に合流し紀伊水道に注ぐ、下流の国管理区間を含む流路延長約25.4km、流域面積約67.5km²の一級河川であります。また流域内では、「四国8の字ネットワーク」を形成する「阿南安芸自動車道」の整備を促進しており、河川改修の必要性も高まっております。

県管理区間では、山間平地部を水田として利用する集落が密集しており、川幅が非常に狭いため、洪水による浸水被害を受けていたことから、昭和31年度に国管理区間上流端から約9.8km区間において改修事業に着手しております。

特に、平成10年5月～11年6月までの僅か1年余の間に3回の浸水被害を受けたことから、平成11年度より、国と共に災害復旧等関連緊急事業を実施し、引堤及び河道掘削等の集中的な整備により、概ね30年に1回程度発生する規模の洪水を安全に流下させることができる暫定計画での改修が概成しております。

現在は、国管理区間の状況を踏まえ、概ね50年に1回程度発生する規模の洪水に対応できるよう河道掘削を実施しており、今後も、桑野川流域全体の浸水被害の軽減に向けて、国・市町と連携し、地元住民の御理解を得ながら、治水事業を推進して参りたいと考えております。



「桑野川の河川整備について」



徳島県 阿南市長 岩 浅 嘉 仁

阿南市は、徳島県東部の中央海岸線に位置し、面積 279.47 km²、東は紀伊水道、南は太平洋に臨み、西は那賀町、北は小松島市及び勝浦町に接し、地形は西部の四国山系の東端に連なる山地と、東部の那賀川水系により形成された沖積平野と三角州からなっています。

桑野川は、その源を矢筈山（標高 565.8m）に発し、阿南市中央部を東に流れ、紀伊水道に注ぐ一級河川であります。流域の大半は杉、檜の植林及び竹林であり、上流域には県の天然記念物であるオヤニラミが生息しています。

河川景観的には、上中流域は田園地帯を流れ、下流域は中心市街地を流れていることから都市河川の景観を有しており、中下流域には、取水のための堰が多く設置され、堰水域が多く存在しています。

河川利用としては、堰水域でのスポーツフィッシングを対象とした県内外からの釣り人も多く、近年は市街地に近い特性を活かし、河川敷を利用したイベント等が開催されています。

治水面では、桑野川における戦後最大規模の洪水である平成11年6月29日の洪水において、桑野川左岸の阿南市宝田町から長生町で約240haが浸水し、床上浸水22戸、床下浸水232戸など、甚大な被害が発生しました。この洪水被害に鑑み、浸水被害を軽減させることを目的として、国、県のご尽力で、「桑野川河川災害復旧等関連緊急事業（平成11年度～15年度）」、及び「桑野川床上浸水対策特別緊急事業（平成14年度～21年度）」

により、河床掘削や引堤による河道拡大や排水ポンプ場の整備を行っていただいております。浸水被害は大幅に軽減されております。今後は、無堤地区の解消や河道掘削等の河川整備により、更なる治水安全度の向上が図られるものと大きな期待を致しております。

また、国管理区間においては、魅力ある水辺空間を再生する桑野川水辺ネットワークの形成として、レクリエーション、イベント、環境教育等の拠点をネットワーク化する桑野川フラワーロード、水辺プラザ、健康運動公園など、河川敷を利用した整備を進めていただいております。本市の「光のまちづくり」と連携し、市街地と河川空間、親水拠点をつなげることで、地域交流や世代交流の活性化を図り、地域の歴史や文化と融合した「かわまちづくり」を展開しております。

今後も国、県の力強いご支援を賜りながら、災害に強い「安全・安心なまちづくり」、魅力ある「かわまちづくり」を進めて参ります。



桑野川河川敷での花火



津乃峰橋から上流を望む